

ご支援ください
存続に向け



NPO法人 朝市センター保育園

● 朝市センター保育園のあゆみ

- 1987年 2月 開園
- 1988年 4月 父母と保母の会 (PTA) 結成
- 1988年 9月 第1回秋祭り (於:五橋公園)
- 1990年 11月 愛子の畑で大根掘り (今はイモ掘り)
- 1992年 2月 そり合宿 (於:面白山 現在は南蔵王恒例行事に)
- 1995年 10月 おやじの会発足 (助成金運動に全力。今も保育園の大掃除や行事の出し物で活躍)
- 1997年 1月 仙台市より「家庭保育室」の指定。
- 1999年 1月 母ちゃんの会発足 (卒園児の母を送る会は恒例に)
- 2002年 2月 高橋迪子写真集「育ちゆく力ー朝市センター保育園」発刊
同窓会発足 (応援団として交流の輪が年々広がる)
- 2003年 6月 隣接地にマンション建設に伴う日照権問題が浮上。「おひさまを守る会」を結成。
7月 NPO法人取得
- 2003年 12月 仙台市より「せんだい保育室 (A型)」の認定を受ける。
- 2004年 4月 日照権問題について、業者と和解。
- 2011年 3月 東日本大震災 (当日、市場の人の応援も受け東二番丁小へ全員無事避難。15日保育仮再開。22日ガス不通の中で保育再開。)

いま

保育園が直面している問題は?

国会で「子ども・子育て関連法」が成立し、政府は「子ども・子育て支援新制度」を2015年度以降に本格実施する予定です。目玉の一つが、小規模保育事業 (3歳未満児のみ対象、定員19人以下) による待機児童解消策です。

仙台市はこの機会に、市独自の「せんだい保育室」制度を廃止し、市が助成してきた当保育園などに、国費による小規模保育事業か、認可保育所に移行するよう求めてきました。

これを受けて、当保育園は現在、認可保育所並みの55人の子どもを受け入れており、認可保育所をめざそうと考えました。

ところが、仙台市は、当保育園の場合、70m以内にパチンコ店があることを理由に、現在地では「認可できない」と判断しています。

当保育園は、パチンコ店より以前に開園し、仙台朝市の真ん中で27年間も市中心部での保育需要に応じてきました。現在の朝市ビル以外での存続は事実上、不可能です。

そのため、私たちは現在地でも認可していただけるよう仙台市にお願いしたいのです。

風営法の70m規制とは?

風営法は地域の良好な環境を保全するため、パチンコ店などの風俗営業店の設置を制限しています。宮城県では、商業地域の場合、学校、認可保育所等から70m以内に出店はできません。一方、保育所の立地を規制する法令はなく、認可の判断は立地場所を含めて、認可権者に委ねられています。

NPO法人 朝市センター保育園

〒980-0021
 仙台市青葉区中央4丁目3-28 朝市ビル5階
 TEL 022-221-9350 FAX 022-221-9351
 ホームページ <http://asaichikko.jimdo.com/>

のこして下さい！わたしたちの保育園

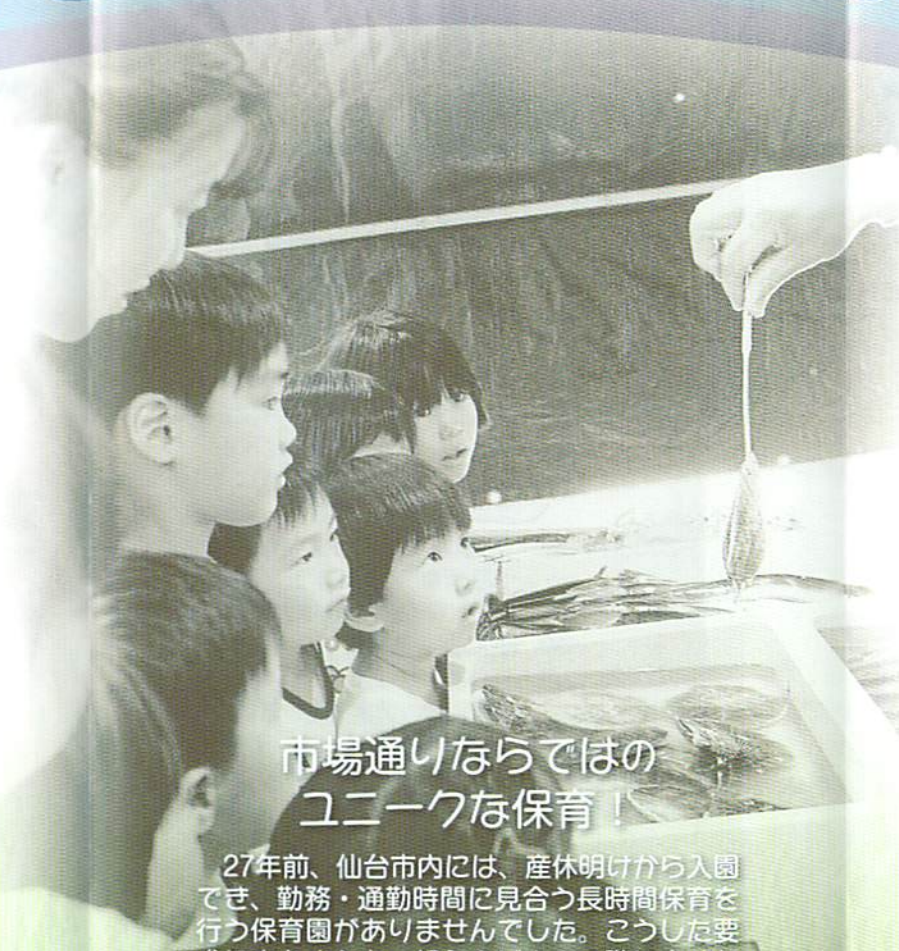


卒園児の訴え

- ◆散歩先の公園での木登り、そり合宿…沢山の思い出が詰まった保育園をなくさないで。(20歳 大学生)
- ◆いつも朝市の人たちに声かけられ見守られて育ってきた気がする。(25歳 会社員)
- ◆地域の人たち、親たち、朝市が大好きな人たちとの交流で沢山の経験を積むことができた保育園時代です。(16歳 高校生)
- ◆卒園しても、子ども同士はもちろん、家族ぐるみで付き合える保育園。自慢の保育園です。(17歳 高校生)
- ◆延長保育はいつも最後だったけど、不安を感じたことはなかった。あったかい保育園です。(14歳 中学生)
- ◆今社会人として頑張れるのは、あの保育園での経験があるからです。(26歳 会社員)

朝市の皆さんの声

- 元気が売りの朝市だけど、むしろ、保育園の子どもたちから元気ももらっている。保育園は、すっかり朝市の一員、なくてはならない存在。(海産物屋さん)
- 保育園の誕生からずーっとみてきた。大変な時も、必死に頑張っている姿を見てきたし、心から応援してきた。なくなるとしたら、本当にさびしい。(肉屋さん)
- 仙台の伝統野菜を市場から発信しているが、人と人とのふれあいを大事にする姿も含めて、市場は子どもたちにとってすばらしい教育力を持っている場だと思う。(八百屋さん)



市場通りならではのユニークな保育！

27年前、仙台市内には、産休明けから入園でき、勤務・通勤時間に見合う長時間保育を行う保育園がありませんでした。こうした要求に応えようと、都心のビルの5階に小さな保育園が産声をあげたのです。

「園庭もない、土と水もない？」そんな心配をよそに、アスファルトを突き破る雑草のように、街中を園庭に「ユニークな朝市の保育」を生み出してきました。

市場の皆さんに見守られ、心は自由に、振る舞いはしなやかに、現代の子どもが、子どもらしい時代をたっぶり経験できる保育をめざしています。

奥山仙台市長 お願いします！

- 当保育園が27年間、朝市の皆さんに支えられ、父母と保育者が力を合わせて、市中心部での保育需要に伝えてきた実績を評価してください。
- 当保育園の開園経過及び立地事情を考慮し、風営法の規制を柔軟に判断されるようご配慮ください。

署名欄 ファックスの方、FAX 022-221-9351
保育園にお送りください。

氏名

住所

ひとこと

PTA会長より

保育園継続のため、仙台市長あての要望署名に取り組むことにしました。皆さん、心からご協力をお願いします。(上記、署名欄もご活用ください。)

*写真は、高橋迪子写真集「育ちゆくカ-朝市センター保育園-」より提供していただきました。